

平成27年度 第3回 COC 実施本部会議議事録

平成27年7月8日(水)

17:17~17:32

場所:本部 大会議室

出席者:清水学長、齋藤教育開発センター長、田浦学生部長、岡野研究開発推進センター長、西谷事務局長、木村企画部長、橋本地域連携推進室担当課長、水本学生支援部長、山村教務担当課長

【議 題】

1. 伊勢志摩定住自立圏に関する基礎的研究の実施について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

度会町と南伊勢町から、アンケート調査対象者のデータの出力にあたって新たに費用負担が必要になったため、方針を変えてアンケートを進めたい。

審議の結果、異議なく了解された。

2. 学修成果測定アンケート(案)について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配付資料を基に説明がなされた。

「伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ」についての学修成果を、学生達に自己点検・自己評価させる。設問は、学年から授業についての意見要望までを含んだ評価アンケートになっており、圏域の資源の活用や情報発信等を理解できたか、またその内容を他の人に説明できるか、達成度をはかりたい。

<質疑応答>

(問)アンケートは、この春学期の終わりに取るのか？

(答)はい。

(問)秋学期は、どのような講義にするのか？

(答)春学期と同じで、各市町からオムニバスで来ていただく。春学期は人口減少や地域資源といった自己紹介的な部分であったが、秋学期はその人口減少という課題に対しどういう取り組みをしていくかという話をしてもらおう予定をしている。

審議の結果、異議なく了解された。

3. その他

特記事項なし

【報 告】

1. 平成27年度皇學館大学「伊勢志摩定住自立圏共生学」科目Ⅰの進捗状況

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

明和町まで終わり、残すところ玉城町が1回、志摩市が2回となった。最終回に本学教員がまとめるという授業の組み合わせにできなかったのが反省点である。やや消極的な所もあり、本学教員が全てコーディネートし説明する回もあったが、ほとんどの市町が積極的に講義していただいている、と報告があった。

2. 平成 27 年度 現地学修実施計画(案)について

- ・玉城町 : テーマ「ICTを活用したまちづくり」 8月11日
- ・鳥羽市 : テーマ「島のかあちゃんたちがもてなす「島の旅」で地域創生」 9月11日
- ・度会町 : 検討中

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配付資料を基に説明がなされた。

玉城町と鳥羽市、度会町について現地学修を実施する。玉城町と鳥羽市については、現在「伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ」を履修している学生を優先的に参加させたい。そのほか参加したい学生については追加し募集していく。玉城町は、「オンデマンドバス」を紹介してもらうプログラムで、募集定員は20名、締め切りは7/29、参加費は1700円。鳥羽市は「島の旅で地域創生」というプログラムで、過疎地に集客、交流をはかろうと地域住民が活動している組織「島の旅社」に、答志島の暮らしを案内してもらう。締め切りは7/29、日程は9/11(金)を予定している、と報告があった。

<質疑応答>

(問)鳥羽市の定員も20名か？

(答)先着で20名募集、参加費は昼食代で700円。

鳥羽市の担当者が、離島を見せたいとの希望があり、それに添う形でプログラムを作った。

度会町については筒井ゼミで行なう。他の学生は募集しない。

<質疑応答>

(問)度会町の中身は決まっていないのか？

(答)検討中である。

3. 平成 27 年度大学教育再生戦略推進費「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の三重大学申請概要と本学の役割について

教学運営会議で説明したため省略。

4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』Web ページ(CLL)について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長よりCOCホームページを基に説明がなされた。

HP内のCLL活動について、取組を行なうと地図上に赤い旗を立てる作りにした。旗をクリックすると具体的な取組内容が表示される。今後、取組が広がってゆき、ひとつの市町に複数の旗を立てることも出来る。旗を多く立てる見込みになっている、と報告があった。

5. その他

特記事項なし

*次回日程

平成 27 年度 第4回 平成 27 年 9 月 18 日(金) 教学運営会議終了後～ 本部大会議室で開催されることが確認された。